

NITEストーリー

～日本の産業とくらしを支え続けたNITEの歴史～

- **100年前**、明治時代から我が国の主要な輸出品であった絹織物の品質を検査する機関として生まれたことがNITEの起源（輸出絹織物検査所：1928年）。
- その後、産業の変遷と共に法律や基準が・改正され、**NITEの位置づけや組織も大きく変化**してきた。
【**メイド イン ジャパンのブランド力創出（輸出製品の品質確保）**】
戦後、国際経済に参加するため、強化された検査基準により品質検査を行い日本製品の信頼を押し上げた。また繊維から工業品へと対象を拡大され、産業の高度化に貢献した。
【**消費者の安全・安心の確保（国内製品の品質確保へ拡大）**】
高度経済成長期において国内消費が拡大し、消費者保護施策が進展する中、これまでに蓄積された検査技術を基に、製品事故調査や表示の適正化など国内製品の安全確保にも役割が拡大した。
【**技術立国のための基盤整備（社会基盤整備のステージに移行）**】
技術情報を用いた科学技術、産業技術の研究、技術開発、製品実用化が進められる時代が到来し、これまで体系的に整理されていなかった品質確保のための試験データや技術情報を体系的に収集・整理し、広く提供することによって、産業の高度化・次世代産業の創出に貢献するとともに、持続可能な経済社会に向けた制度提案を実施している。
- 産業・社会の発展のため、時代の要請に応えNITEは国と協力してルールを整備し執行することで国の施策を支援し、社会課題に**科学的・中立的な調査と提言で「信頼」を築いてきた**。現在は独立行政法人として、より効率的かつ柔軟に業務を行っている。
- 組織名や体制が変わっても、NITEは100年間「**確かな技術と信頼できる情報**」により日本の産業とくらしを支える役割を担ってきた。
- これからのNITEは、「安全・安心」はもとより、**国際競争力の源泉となる新たな市場価値を創出していくことで、人々のくらしを豊かにします。**

～日本の産業とくらしを支え続けたNITEの歴史～

【技術立国のための基盤整備】

確かな技術と信頼できる情報で社会基盤として産業等を支える
(産業競争力強化、高度化、新規産業創出)

持続可能な経済社会のための制度提案

産業の高度化・次世代産業の創出

次なる
100年

産業・知的基盤データ等の蓄積、公開

●科学技術基本法(95)

●知的基盤整備計画(01)

●化管法(01)

●電事法改正(15)

【消費者の安全・安心の確保】

確かな技術と信頼できる情報で製品性能・機能の品質を確保し、
消費者の安全・安心を支える(国内消費)

●化審法(74)

●消安法(74)

●PL法(95)

●品表法(62)

●計量法改正(93)

●JIS法(49)

【メイドインジャパンのブランド力創出】

確かな技術と信頼できる情報で輸出品の品質確保を支える
(国際経済参加)

●輸出絹織物
取締法(28)

●輸出品取締法(48)

●輸出検査法(58)

国際競争力の源
泉となる新たな
市場価値の創出

